

2024年5月30日

各 位

会社名 株式会社セゾンテクノロジー
代表者名 代表取締役 社長執行役員 葉山 誠
(スタンダード・コード: 9640)
問合せ先 執行役員 経営戦略本部長 小山 和也
電話番号 03-6370-2930

(訂正)「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社が2024年5月10日に公表いたしました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。訂正部分に下線を付しております。

なお、数値データ(XBRLデータ)に修正はございません。

記

1. 訂正理由

「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項があることが判明しましたので、当該事項を訂正するものであります。

2. 訂正内容

【添付資料 29 ページ】

4. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【添付資料 29 ページ】

(訂正前)

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			
	HULFT事業	データプラットフォーム事業	流通ITサービス事業	フィナンシャルITサービス事業
売上高				
外部顧客への売上高	9,951,222	2,481,758	2,812,473	8,618,823
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,951,222	2,481,758	2,812,473	8,618,823
セグメント利益又は損失 (△)	4,223,539	△2,064,996	△1,852,008	717,903
セグメント資産	3,453,338	<u>514,007</u>	1,207,835	<u>2,848,544</u>
その他の項目				
減価償却費	302,767	6,213	897	185,734
のれん償却額	1,146	—	—	—
減損損失	—	87,378	—	—
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	351,593	—	—	70,550

	報告セグメント	調整額 (注) 1	連結財務諸表計上額 (注) 2
	計		
売上高			
外部顧客への売上高	23,864,278	—	23,864,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	23,864,278	—	23,864,278
セグメント利益又は損失 (△)	1,024,438	—	1,024,438
セグメント資産	8,023,725	14,672,958	22,696,683
その他の項目			
減価償却費	495,614	182,126	677,740
のれん償却額	1,146	—	1,146
減損損失	87,378	—	87,378
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	422,143	284,703	706,847

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) 「HULFT Square」について、前連結会計年度までは新サービスの研究開発であったため全社費用としておりましたが、2023年2月にリリースしたことに伴い、当連結会計年度より「データプラットフォーム事業」に区分しております。
 - (2) セグメント資産の調整額14,672,958千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金やデータセンターのサーバー機器等の固定資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額182,126千円は、共用資産及び各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。なお、セグメント利益の算定上は、このうち共用資産に係る減価償却費につきましては、合理的な基準で各報告セグメントに配賦しております。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額284,703千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 3 「流通ITサービス事業」セグメントにおいて、受注損失引当金繰入額1,805,244千円、「フィナンシャルITサービス事業」セグメントにおいて、受注損失引当金繰入額6,682千円を売上原価に計上しております。

(後略)

(訂正後)

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			
	HULFT事業	データプラットフォーム事業	流通ITサービス事業	フィナンシャルITサービス事業
売上高				
外部顧客への売上高	9,951,222	2,481,758	2,812,473	8,618,823
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,951,222	2,481,758	2,812,473	8,618,823
セグメント利益又は損失 (△)	4,223,539	△2,064,996	△1,852,008	717,903
セグメント資産	3,453,338	715,452	1,207,835	2,647,098
その他の項目				
減価償却費	302,767	6,213	897	185,734
のれん償却額	1,146	—	—	—
減損損失	—	87,378	—	—
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	351,593	—	—	70,550

	報告セグメント	調整額 (注) 1	連結財務諸表計上額 (注) 2
	計		
売上高			
外部顧客への売上高	23,864,278	—	23,864,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	23,864,278	—	23,864,278
セグメント利益又は損失 (△)	1,024,438	—	1,024,438
セグメント資産	8,023,725	14,672,958	22,696,683
その他の項目			
減価償却費	495,614	182,126	677,740
のれん償却額	1,146	—	1,146
減損損失	87,378	—	87,378
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	422,143	284,703	706,847

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) 「HULFT Square」について、前連結会計年度までは新サービスの研究開発であったため全社費用としておりましたが、2023年2月にリリースしたことに伴い、当連結会計年度より「データプラットフォーム事業」に区分しております。
 - (2) セグメント資産の調整額14,672,958千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金やデータセンターのサーバー機器等の固定資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額182,126千円は、共用資産及び各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。なお、セグメント利益の算定上は、このうち共用資産に係る減価償却費につきましては、合理的な基準で各報告セグメントに配賦しております。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額284,703千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 3 「流通ITサービス事業」セグメントにおいて、受注損失引当金繰入額1,805,244千円、「フィナンシャルITサービス事業」セグメントにおいて、受注損失引当金繰入額6,682千円を売上原価に計上しております。

(後略)

以 上